



自家製生パスタにはこだわりと絶対の自信を持っています。美味しいのは当たり前。素材、お料理の見栄え、お店の雰囲気、量、スタッフのホスピタリティなど、全ての面で他店に負けないよう心がけています」と中谷店長。自分を捨てて、お客様だけではなく全ての人を喜ばせる「他喜力」という言葉をオーナーから授かりました。「オーナー自ら実践しているのが伝わってくるので、自分も見習いたい日々精進しています」

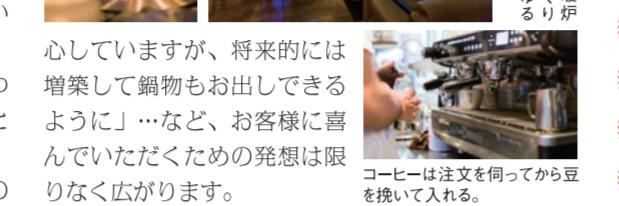
9種類から選べるパスタセットの他、季節のパスタや日替わりパスタもあり、メニューは実に多彩。エントランスを入って右側はシックで落ち着いた雰囲気、左側はカフェテラスの様に開放感たっぷりの明るい空間になっていて伝統を誇る天野酒の看板を背負う西條さん。大学卒業後、大手鉄鋼会社に勤めました。

すでに3店舗を持つキンボシ パスタ カフェが狭山池に4店舗目を開いた理由は、「地域に密着した場所で、お客様の顔が見えるお付き合いをしたかった」から。オーナーをはじめ、スタッフの多くが南大阪在住で、大阪狭山の地に「ご縁」を感じたそうです。回転重視ではなく、ゆっくりと窓で見ていただけ、同じお客様に何度も足を運んでいただくのが目標。

おり、その時の気分に合った席を選ぶこともできます。「他の3店舗と比べてお客様との会話を増えました。同じお客様の顔を見ることが大きな喜びです。毎週と言わず毎日足を運んでいたので、旬の素材と豊富なメニュー、お店の雰囲気を楽しんでください」

2階は個室に改造を計画中。「今はパスタに一意専

大きな窓に囲まれた開放感いっぱいの店内。外観同様、白を基調にまとめられており優雅な気分に浸れる。



やかに流れれる。時間がかかる。

コーヒーは注文を伺ってから豆を挽いて入れる。

エントランス右側の暖炉

テラコッタのレンガづくり

芝生と木々の緑に包まれた白い洋館は青空とベストマッチング。まるで絵画のよう。

座敷で時間があがく。

芝生と木々の緑に包まれた白い洋